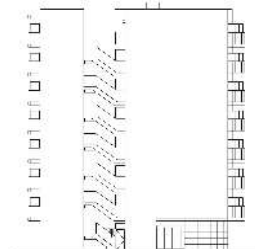


CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北越谷計画	階数	地上8F、地下0F
建設地	埼玉県越谷市	構造	RC造
用途地域	市街化区域・第二種住居地域	平均居住人員	129 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2024年2月10日
敷地面積	1,561 m ²	作成者	株式会社HRAデザイン 前田光紀
建築面積	647 m ²	確認日	2024年2月10日
延床面積	4,025 m ²	確認者	株式会社HRAデザイン 前田光紀



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	越谷市における共同住宅として再利用可能性向上へ努め、周辺環境へ配慮した計画としている。	その他 特になし。
Q1 室内環境	屋光率において居室2.00%以上 確保している。 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	[BEI][BEIm]=0.95	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たしている。広告物照明を行っていない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)北越谷計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.6
Q1 室内環境							0.40		-	3.0
1 音環境						3.0	1.00	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境						3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能						3.0	0.38	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						3.0	-	3.0	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						2.6	0.25	3.3	1.00	3.0
3.1 昼光利用						1.8	0.30	4.0	0.30	
1 昼光率		居室3.90%以上				1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口						3.0	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御						3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.0	1.00	3.1
4.1 発生源対策						4.0	0.60	3.0	0.63	
1 化学汚染物質		内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用				4.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						3.0	-	3.0	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	-	3.0	-	
2 喫煙の制御						3.0	-	3.0	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.7
1 機能性						2.2	0.40	2.6	1.00	2.4
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性						3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	3.0	-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観						3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	-	3.0	-	
3 内装計画						1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						2.5	0.30	3.0	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	3.0	-	
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50	3.0	-	
2 耐用性・信頼性						2.8	0.30	3.0	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	3.0	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	3.0	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	3.0	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0	0.30	3.0	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	3.0	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20	3.0	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	3.0	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	3.0	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20	3.0	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	3.0	-	
2.4 信頼性						2.2	0.20	3.0	-	
1 空調・換気設備						1.0	0.20	3.0	-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20	3.0	-	
3 電気設備						3.0	0.20	3.0	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	3.0	-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20	3.0	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				3.0	0.50	
1	階高のゆとり			3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00			
1	空調配管の更新性	3.0	0.20			
2	給排水管の更新性	3.0	0.20			
3	電気配線の更新性	3.0	0.10			
4	通信配線の更新性	3.0	0.10			
5	設備機器の更新性	3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			0.30			2.1
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30			2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	2.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性						3.0
LR1 エネルギー			0.40			3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20			3.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.95	3.5	0.50		3.5
4 効率的運用		3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価						
4.1	モニタリング	3.0				
4.2	運用管理体制	3.0				
集合住宅の評価			1.00			
4.1	モニタリング	3.0	0.50			
4.2	運用管理体制	3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			0.30			2.8
1 水資源保護		3.0	0.20			3.0
1.1 節水		3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減		2.7	0.60			2.7
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている	4.0	0.20		
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70			
1	消火剤					
2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50			
3	冷媒	3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			0.30			2.9
1 地球温暖化への配慮		3.0	0.33			3.0
2 地域環境への配慮		2.5	0.33			2.5
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1	騒音	3.0	0.33			
2	振動	3.0	0.33			
3	悪臭	3.0	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40			
1	風害の抑制	3.0	0.70			
2	砂塵の抑制	3.0				
3	日照障害の抑制	3.0	0.30			
3.3 光害の抑制		4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たしている。広告物照明を行っていない。	5.0	0.70		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30			

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)北越谷計画	BEE	0.8	BEEランク	★★
------	-----------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.0	+	1.6	=	4.6 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.0
<配慮した内容を記述>			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述>			

 :入力欄